

1	日 時	平成24年 11月20日 午後 1時30分から午後 3時30分まで
2	会 場	上田市役所 本庁舎 6階 大会議室
3	出席者	塩入会長、真壁副会長、一場委員、大久保委員、金井委員、黒沢委員、小林委員、 小山委員、下村委員、竹内委員、田中委員、田原委員、長岡委員、長櫓委員、 橋詰(正)委員、橋詰(元)委員、舟見委員、丸山(晴)委員、丸山(正)委員、宮本委員
4	市側出席者	母袋市長、宮川政策企画局長、片岡政策企画課長、大矢係長、銭坂主査 寺島東御市企画課長、奈良本青木村総務課係長(課長代理)、辰野長和町企画財政課長、 荒川坂城町企画政策課長、青井立科町づくり推進課係長(課長代理)、 黒岩孺恋村企画財政課課長補佐(課長代理)
5	オブザーバー	小野沢上小地方事務所地域政策課長
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 5人
8	会議概要作成年月日	平成24年 11月21日

協議事項等

- 1 開 会 (片岡課長)
- 2 委嘱状交付 (母袋市長)
- 3 あいさつ (母袋市長)
- 4 委員自己紹介
- 5 会長・副会長選出
【会長】塩入肇委員 【副会長】真壁善之委員 に決定
- 6 報告事項 (進行: 塩入会長)
 - (1) 孺恋村との協定、立科町との変更協定について (説明: 大矢係長)
 - (2) 共生ビジョンの進捗状況について (説明: 大矢係長)
- 7 議事
 - (1) 共生ビジョン (修正案) について (説明: 大矢係長)

<質疑応答>

(委 員) 公共施設の相互利用について、孺恋村と立科町以外他の市町村が入っていないのは何故か。

(事務局) 孺恋村から図書館の相互利用の提案をいただいたので、同じく公共図書館を持たない立科町も含め2町村と上田市で取組を始めたところである。取組名は今後の文化施設等への取組の拡大を見据えて広い枠組みとしている。

(委 員) スクールカウンセラー活用事業は東御市において、大きな効果が得られたと感じているので今後も引き続き継続して欲しい。

(委 員) 地域医療再生計画が残り1年となったが、信州上田医療センターについて、市民の目線として、成果が見られていないのでは。引き続き成果が見られるような取組をお願いしたい。

(担当課) 信州上田医療センターの充実には医師確保が大切。医師確保とともに、現在行われている上田市立産婦人科病院への小児科医師の回診といった連携も継続して行い、充実させていく予定。

(事務局) ポスト地域医療計画に向け、県、市町村、広域連合、医療機関、医師会等関係機関が役割分担のもと連携して取り組んでいく。

(委 員) 各取組の費用負担割合について、各市町村が納得した上での金額になっているのか。

(事務局) 費用の負担割合は取組の性質によって違いがあるが、協定を結ぶ上で各分野での部会を開き、それぞれの市町村関係者と話をした上で決定したものである。

(委 員) 孺恋村について、今回の協定のほかにも取組を検討していただきたい。また、県境をまたぐ事により、特に県の制度等に考え方の違いがあるかと思うが、それらを乗り越えて有意義な協定になるよう連携した取組をお願いしたい。

(事務局) 共生ビジョンは毎年更新することとしており、協定の変更には議会の議決が必要になる。今後も引き続き連携可能な取り組みを検討してまいりたい。また、医療・教育の分野では県ごとに制度が異なることから、オブザーバーである長野県など関係機関との連携を図り、取組が有意義なものとなるようにしていきたい。

(委員) 空き土地、店舗、倉庫の活用など企業誘致を行うことで積極的な地域活性化をお願いしたい。そうした表現を入れられないか。

(担当課) 情報公開等、地域の強みをパンフレットに盛り込むなど、積極的に取り組んでいく予定。表現は次回までに検討する。

(委員) 発達支援センターの設置について現在検討されている中で、取り組む方向性で固まったとの事であるので、「必要があれば」はいらぬのではないか。

(事務局) 次回までに修正をする。

(委員) 成年後見人の取組について市民後見人の養成は大切であると感じる。次年度の取組方針にも盛り込まれていることから、ビジョンにも表現を加えてほしい。

(事務局) 盛り込めるか検討させていただきたい。

8 その他

(会長) 今回の意見を受けて修正を行い、次回決定したいと考えている。

次回懇談会日程：平成24年 12月14日（金）午前10時00分から11時30分まで
ひとまちげんき健康プラザ 2階 多目的ホール